



1回転でノブが飛ばされ、ワーク製ホイールを前に飾るホアン
代表。自身の経験もとにした言葉には圧倒的な経験力がある



「あまり知られていないワークで注目! フリーリー、ホ
ームランナ、アーチクラッシュ、製品にもGOT開拓に開
拓するワークがこれまで培ってきた技術を投入している」

SPEC
GNOSIS FMB01
(F93 5.1x19+20 R10.5x19+35)
カーボンブラッシュ

「実はM4は足りるの設計が
進み過ぎた結果、ホイール新規に
すると高価な代行料、バタつきます。
S11は競るビースなどの特別版
ではないのですが、それが車には
良い作用とつながります。実際
オーナーの車にはペリーや、その
活用です。たまたまサーキットを走
るオーナーに遭遇してでも乗ってもらおう
フォーマーは喜びます。この
M4(車)は自分がスリードライバー
ヒーター(キック)まで楽しめるボルテ
カですが、F MB01に比べると運
転感を求めるF93 MB01を普段
の運転を快適に楽しむため、
M11(車)を優先推奨です!」

車両によってはホイールを選
ぶ上にベックドで眺るので、
ヨーロッパなどではヨーロッパを
ぜひ参考にしてもらいたい。



37 BMW×af imp.



「ホイールカーブシルエット、コント
ラクト等の装飾を引き出すボー
クの面の溝と凹みや、スリット角の
エッジ等などあらゆる部分に意匠の
高さが見て取れる」

相談した結果、ホイール選定が徹底だ

WORK GNOSIS FMB01×BMW M2 ZEAST ST1×BMW M4

ホイール単体のスペックだけを追い求めないという姿勢

あくまでもクルマとのマッチング それがホイール選びのキモ

いまや国産ホイールを躍りこむハートルは薄れ、自分にあたるホイール選びこそが大切な時代となった。走りに特化したBMW専門プロショップ「TECH-M」が推すのは、コンセプトの異なる2つのワークホイールだった。

問い合わせ www.tech-m-power.com
車両協力: TECH-M / TEL:022-361-1088 www.tech-m-power.com
撮影協力: 大阪府立狭山池博物館
写真: 文・宮野あゆ



「ワーク開拓すと2ピース工法によって星型のイ
ンサート式リムゲーティング。もともと量産車用に開
拓されたST1は、M5のワーフラムクラッドを受け止める



SPEC
ZEAST ST1 (F93 5.1x19+16 R10.5x19+22)
カーボンブラッシュ

M4の設計にあわせたと楽しく
イギリス車に国産ホイールが
積極投入され始めたのは遅
いなくともW12オーナー達だ。どうわ
け精緻なトータルメンテナンスを求める
手乗り車が、BMW M4の「カーボンヘ
ル」へといたる流れで大きめの車
輪を採用していきたい。

大陸諸都市の「ワーク製機械部」
国産ホイールながらもワーク製ホ
イールを使用すれば、ロゴタイプのひ
づき氷点下を筆頭に、高い耐久性アリ
を兼ねM4を筆頭に、同時に通つ
レザーカーの多くワーク製ホイ
ルを採用していきたい。

2台のワーキングは起きる異なる2
種のM4ではグノーシスの銀
ブランのワーキングは、圧倒的な軽量化と
分ける。白のM4はグノーシスの銀
通りピースモチーフMB01を、赤の
M4はジンスモチーフG選択用ホ
ルST1を採用。G選択用ホ
ルのエッジはハサウエイングだに盛り込
んだF93 M4は、圧倒的な軽量化と
高剛性化が加え、ホイール苦悶の空
力にも注目した軽量化の仕組み。
ただこのホイールはサーキットを
走ると、ホイールに付着するタイヤ
カスが少なくて、安心感を実感で
きます。常に車内座席の温度で温
めの良い安心感でサーキットを
攻めることができますね」と水元代
表は語る。ストップ用Gリザーブホ
ルST1は、赤とも同じGリザーブホ
ルなどの量産機バーハーフマシンを
相談した結果、ホイール選定が徹底だ